

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予察防除情報第1号

ばれいしょの疫病の防除対策について

ジャガイモ疫病初発時期予測システム（FLABS長崎モデル）【以下、FLABS】による各地点における疫島の初発時期および防除開始時期は、以下のとおり予測されますので、各圃場における発生状況に注意するとともに、的確かつ効率的な防除に努めてください。

なお、今後の予測は当所のホームページで随時更新しますので参考にしてください。

記

1. 発生状況

3月後期の巡回調査（24筆）の結果、発生を認めなかった（過去10カ年発生を認めない）。

2. FLABSによる予測結果について

各出芽日（50%出芽）を基点とした各地点（アメダス地点）の予測初発時期は表1のとおりである。

表1 30年産春作ジャガイモ疫島の初発時期（予測日）

平成30年4月1日現在

	3月1日出芽（50%）	3月15日出芽（50%）
	上段：初発時期 下段：効率的防除のための防除開始時期	上段：初発時期 下段：効率的防除のための防除開始時期
長 崎	3/31～4/10 (3/26～28)	—
大 瀬 戸	4/2～12 (3/28～30)	—
飯 盛	—	—
大 村	4/4～14 (3/30～4/1)	—
島 原	—	—
口 之 津	4/2～12 (3/28～30)	—
平 戸	3/31～4/10 (3/26～28)	—
福 江	3/28～4/7 (3/23～25)	—
愛 野	—	—

注1) 表中の「—」は4月1日までのアメダス観測値では初発時期を予測するための要件を満たしていないことを示す。ただし、出芽の早い圃場ほど疫島の危険が高いので注意する。

注2) 飯盛は、農林技術開発センター（諫早市貝津）および川の防災情報（国土交通省 江の浦川）の観測値による。

注3) 愛野は、農林技術開発センター馬鈴薯研究室（雲仙市愛野町）の観測値による。

3. 防除対策について

- (1) 本病は発病すると急激に進展し、蔓延するので予防防除に重点をおく。
- (2) 1回目の薬剤散布は、ばれいしょの茎葉伸長期にあたるので表1（ ）内の時期を目安にして、浸透移行性の高いA剤を散布する。その後B剤（A剤散布14日後）、C剤（B剤散布14日後）を散布すると効率的、効果的な防除ができる（図、表2）。
 なお、予測による1回目散布時期が遅くなり、散布間隔が短くなる場合は、2回目（B剤）の散布を省略し、C剤を散布する。
- (3) 薬剤散布は下葉に薬液が十分付着するよう十分量を散布する。

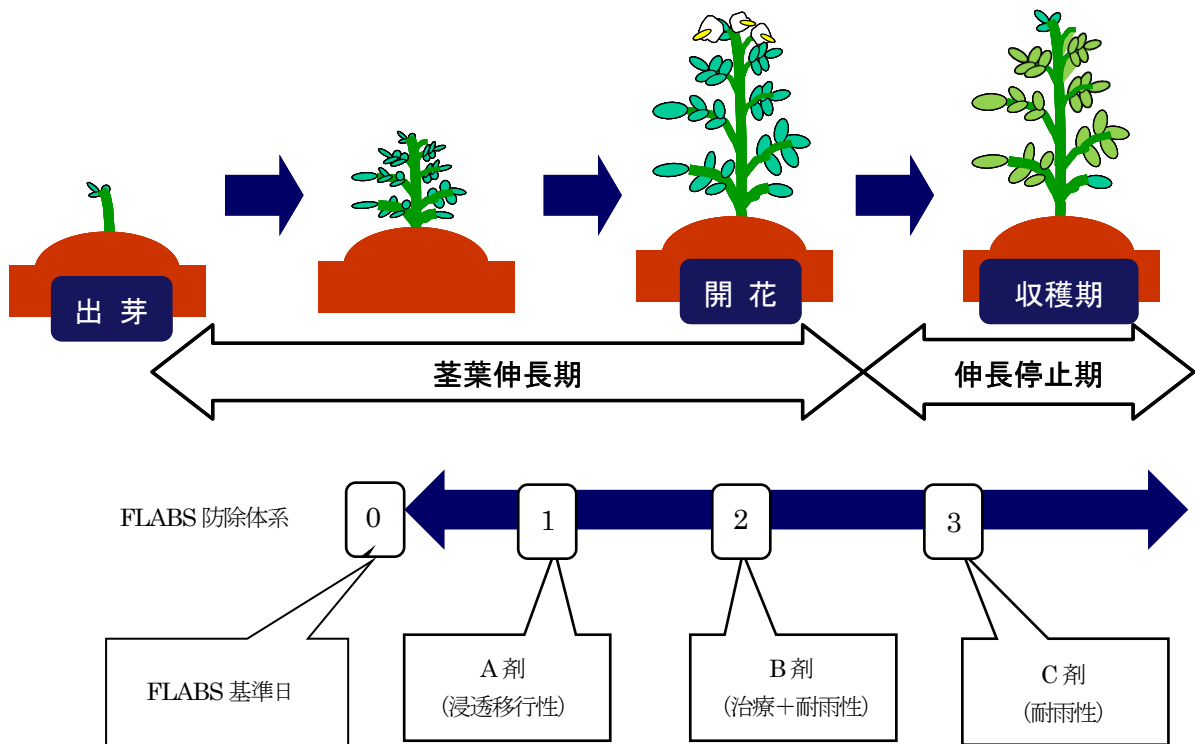


図 FLABS長崎モデルを利用した防除体系の概略
 （長崎県農林技術開発センター成果情報 平成24年度第32号を一部改変）

表2 ばれいしょの生育ステージ別疫病の薬剤防除体系（H30長崎県病害虫防除基準）

薬剤特性	A剤 （茎葉旺盛伸長期）	B剤 （茎葉伸長～開花期）	C剤 （茎葉伸長停止～収穫期）
治療・保護剤	フォリオゴールド リドミルゴールドMZ ゾーバックエニケード	プロポーズ顆粒水和剤 リライアブルフロアブル ホライズンドライフロアブル ブリザード水和剤 フェスティバルM水和剤 エキナイン顆粒水和剤 ザンプロDMフロアブル	
保護剤（長期残効性）			ライメイフロアブル レーバスフロアブル ランマンフロアブル フロンサイド水和剤
保護剤			ダコニール1000 マンゼブ水和剤 銅水和剤

※薬剤は平成30年1月現在の登録

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

